

わらべ保育室だより

発行：庄原市病児病後児施設 わらべ保育室
 庄原市西本町2丁目12-9
 0824-74-6770
 (一社)里山こども未来会議
 庄原市西本町2丁目8-11
 0824-74-6636
 庄原市 児童福祉課 あんしん支援係
 0824-73-0051

令和4年度 秋号

空は高く澄みわたり、さわやかな季節になりました。7～9月のわらべ保育室は、感冒、喘息様気管支炎、咽頭炎、下痢症などのお子さんの利用がありました。

秋冬の低湿・低温はウイルスの好む環境であり、ウイルスが強い感染力を持つため、様々な感染症が流行り始めます。また、気温が下がることで体温が下がり免疫力も下がってしまいます。鼻やのどの粘膜の乾燥を防ぐことも効果的な感染予防になります。

気をつけたいRSウイルス感染症

どんな病気？

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。
 生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染するとされていますが、最近では2歳時点での感染は60%程度との報告もあり、初感染の時期は遅くなっている可能性があります。
 初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に生後数週間～数ヶ月の時期においては、細気管支炎(ゼイゼイ)、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。



どんな症状？

潜伏期間は2～8日(典型的には4～5日)。
 生後数ヶ月未満の子どもの初感染では、哺乳不良や突然死につながる無呼吸発作を起こすことがあり注意が必要です。
 感染すると発熱、鼻汁、咳などの症状が出現します。
 症状改善まで7～12日ほどかかります。

治療法は？

特効薬はありません。
 ほとんどは自然経過で良くなります。
 呼吸が苦しい、無呼吸がある、水分が摂れないなどあれば、入院して点滴や酸素の治療を行います。
 現時点でワクチンはありません。



予防のポイントは？

感染している人の咳やくしゃみ、感染している人との接触やウイルスがついているおもちゃ、コップ、いすなどを触ることによる間接的な接触で感染します。
 手洗いを十分に行うことが大切です。
 年長児や大人では咳があっても鼻風邪程度ですむためRSウイルス感染症と気づかれないことが多いです。気道症状がある場合には乳児と接触する際(特に抱っこや母乳をあげる際)には、周囲の流行状況を見ながらマスクの着用がおすすめです。

佐久医師会監修・発行冊子
 「教えて！ドクター
 子どもの病気とおうちケア」参照

わらべ保育室では、病気や病気の回復期のお子さんを保護者の方が看護できない時、保育士が保育看護し、回復に向かうお手伝いをします。
 保育看護中には、庄原こどもクリニックの医師と看護師の回診もあり、医療的な助言を受け、連携して安心できる保育看護に努めています。
 ご利用に関して説明を希望される方は、お気軽に連絡ください。



わらべ保育室を利用するには...

1. 事前登録

登録用紙に記入し、市児童福祉課 または、わらべ保育室へ提出します(毎年度、登録が必要です)

お子さんが発病になり、利用を希望

2. 予約

わらべ保育室へ電話予約をします
 利用希望日の前日までの開設時間中(8時～18時)または、当日の11時まで受付しています

3. 受診

庄原こどもクリニックで受診し、利用可能と判断されれば「医師連絡票」を受け取ります

4. 利用申請・入室

利用申請書に記入し、医師連絡票を添えて提出します
 持参物を用意し、入室します

予約のキャンセルは
 当日9時までに
 必ず連絡をお願いします

お子さんの保険証 乳幼児医療受給者証
 母子手帳 薬 飲み物 昼食(ミルク)
 おやつ2回分 着替え(オムツ)
 手拭きタオル レジ袋など



里山こども未来会議ホームページではわらべ保育室の利用手順や保育看護の様子などもご覧になれます

わらべ保育室を利用された方から...

息子の急な病気の時、共働きのわが家にとって、わらべでみて頂けて、とても助かっています。
 朝は涙、涙のお別れで心配ではありますが、個室で一对一で関わってもらえ、利用中の様子も細かくコメントや写真付きで伝えてもらえるので安心です。お迎えの時、笑顔なのでホッとしています。
 職員の皆さんに優しく支えてもらっています。
 (2歳7ヶ月男の子のお母さん)

● わらべ保育室 ●

お問い合わせ・事前登録はこちらへ

→ tel 0824-74-6770

受付時間：月～金曜日 8:00～18:00

(祝祭日・年末年始12月29日～1月3日を除く)

里山こども未来会議ホームページ ▶

ここから庄原市のホームページにリンクして「登録申請書」「利用申請書」をダウンロードできます

